

「アクアムーブ」について



※製法特許出願中

「アクアムーブ」とは、オリジナル液体が入ったインソールです。液体の粘度を調整し、インソールの形状を工夫することで流れを制御しています。

アクアムーブは、静岡大学の森田信義名誉教授が発明した「オリフィス理論」に基づき、静岡大学と浜松医科大学、および当社による共同研究によって生まれました。

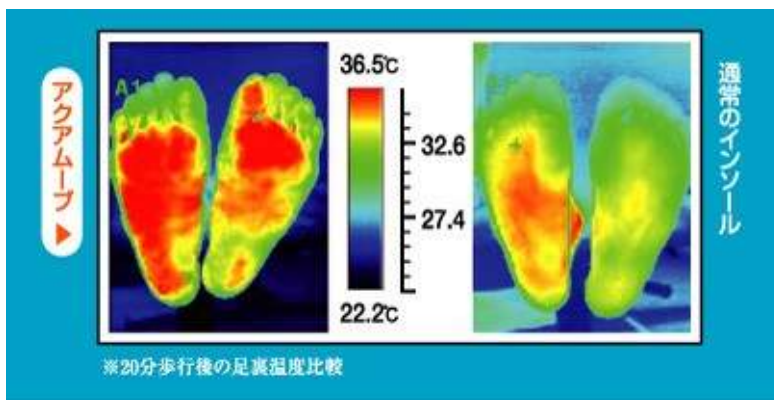
歩行によりアクアムーブが加圧されると、液体が着地衝撃を分散・吸収する一方、渦を巻くような水流が生まれる構造になっています。これにより、「第二の心臓」と呼ばれる足裏を指で押すような感覚を得ることができる“足の健康”を提案する製品です。実験の結果からも、足裏の温度が上昇する結果が得られました。

 **コンフォートセーバ**とは

人と靴のコンフォートな関係を保つために考えられた当社独自の快適技術体系です。生理学・人間工学・生産技術から考え出された、16の基本技術とそれを支える約100の対応技術が当社のあらゆる靴にいかされています。

「アクアムーブ」の検証結果

1. 足裏温度比較

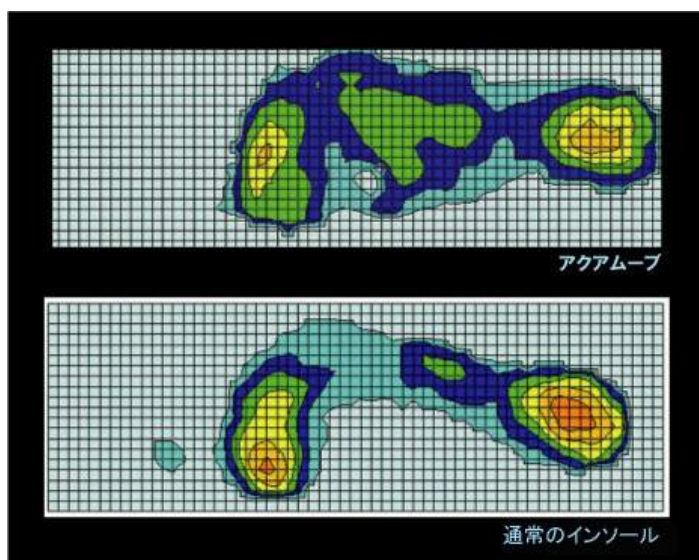


20分間歩行した後の足裏の温度を測定したところ、*押圧効果により足裏の温度が上昇しました。

足は「第二の心臓」と呼ばれる器官で、血行を良くすることが大切です。

*押圧効果・・・歩行時に発生した水流が足裏へ心地よい刺激を加える。

2. 足裏圧力分散



歩行中の足裏にかかる圧力を測定したところ、通常インソールに比べ、接地面積が広く、圧力が分散されました。通常歩行時、かかとは体重の1.2～1.5倍の圧力がかかっていますが、アクアムーブがその衝撃を足裏全体に分散させて、かかと・膝・腰への負担を軽減させます。

(*足裏圧力分散)

*足裏圧力分散・・・着地時にかかるかかとへの衝撃を緩和し、その圧力を足裏全体に分散させることにより適度な刺激に変換する。